

J A 自己改革推進レポート（J A 鳥取西部） 1 2 月号

1. ICT 農機に注目。労力軽減、生産拡大へ期待

J A 鳥取西部は11月17日と18日の両日、「ICT 農機と野菜作機械の実演会」を開いた。会場には、草刈り機や大型農機、ドローンなど様々な農業機械を展示した。中でも、GPS（全地球測位システム）を活用した農機などが大きな注目を集めた。基地局などを使用することで誤差2～3センチと高精度での自動運転が可能なコンバインや無人ロボット田植え機などを実演した。



2. 交通事故の衝撃や怖さを擬似体験。交通安全への意識高める

J A 鳥取西部と J A 共済連鳥取は11月19日、米子工業高等学校で鳥取県警察本部と連携して自動車交通安全教室を開いた。

同教室は、プロのスタントマンが交通事故を再現し、生徒に事故の衝撃や恐怖を擬似体験させ、交通安全への意識を高めることで事故の未然防止につなげることを目的としている。スタントマンによる「傘差し」や「2人乗り」、「ながらスマホ」など高校生に身近な自転車での危険運転で起きる交通事故の再現に、生徒らは真剣な表情で見入っていた。



3. J A 鳥取西部白ねぎ料理研究会と大山ブロッコリー料理研究会が農林水産省の「国際果実野菜年2021」レシピで受賞

J A 鳥取西部白ねぎ料理研究会と大山ブロッコリー料理研究会は、農林水産省の料理レシピ募集に応募し、「白ねぎと明太子のとろとろ煮」、「大山ブロッコリーの大山チーズ焼き」、「大山ブロッコリーのブロッこんぶ」の3品が表彰を受けた。

農林水産省は国連で採択された「国際果実野菜年2021」の一環として、おすすめレシピなどを全国から259品集め、管理栄養士による審査により、彩りや味つけ、アイデアなどが特に優れた21品を表彰しており、同3品については農林水産省のウェブサイトで公表されている。

